

3 お年寄りが住みやすい町づくりについて

ただいまの武井美里花議員のご質問にお答え申し上げます。

お年寄りが住みやすい町づくりについてであります。健康な方にとっては、何でもないわずかな道の段差も、高齢者や障がいのある方が移動するときには、大変な思いをされています。

そこで、できる限りそのような障壁をなくすため、バリアフリーを推進する法律によって、本市でも公共施設を整備する際には、バリアフリー化を進めています。

具体的には、視覚障がいの方のために音の出る信号、位置や方向を知らせる点字ブロックの設置、車いすのまま出入りのできる多目的トイレの設置などです。

しかし、道路や歩道幅の関係、施設整備の進み具合などの関係から、市内全域にバリアフリー化が十分進んでいるとは言えません。

そこで、武井議員から協力できることというご質問をいただきましたし

たので、お話をさせていただきますと、困っている人がいたら、驚かせないように、やさしく「お手伝いしましょうか」と声かけをしてください。お年寄りの方は、速い動作が苦手で、耳の遠くなった方もいますので、ゆっくりした言葉で、丁寧に話しかけてください。

そして、今の気持ちを持ち続けて、お年寄りに優しい住みよい町づくりの協力者になっていただきたいと思いますと考えております。

本市といたしましても、バリアフリー化を推進し、これからも皆さんにとって住みやすい町づくりに取り組んでいきたいと考えております。

以上申し上げます、^{たけい みりか}武井美里花議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。